



<https://www.tutitokaze.com/>

<https://www.instagram.com/koedofarm/>

2022.6.25号



親子で畑で遊ぼう！2022

第3回 6/11

想定外とは「あらかじめ想定していなかった状況や出来事」。まさにこの日のことを指している言葉だ。何が想定外だったかは後半に。

第3回は夏の収穫祭。ジャガイモ、ズッキーニ、レタスなど収穫が目白押しの日だ。まずはジャガイモの収穫からスタートしよう。3月12日にみんなで種イモを植えてからちょうど3ヶ月。この間、成長に合わせて、草取りを1回、追肥も1回、土寄せは2回した。その甲斐あって病気にもかからず元気に育ってくれた。ジャガイモは葉っぱが黄色くなって茎がしなびたら収穫ときだ。葉も茎もまだ青々しているのでちょっと早いかな？

と思いきや、茎を引き抜き、土を掘り起こすと出てくる出てくるビックサイズのジャガイモが次から次へと掘り出される。



溢れる笑顔。湧き上がる歓声。コンテナいっぱいのジャガイモ。これを待っていたのだ。ついにこの日が戻ってきたのだ。こんなに大きなジャガイモがこんなにたくさん獲れるなんて夢のようだ。雨を心配することなく思う存分収穫を楽しんだ。

続いて、ズッキーニの収穫。種まきは第一回の4月9日。わずか2ヶ月でもう収穫だ。と言うより、育ち過ぎてバツミ



たいになっている。これもこえどファームらしい。ズッキーニは茎が折れやすく、トマトやナスと違って、一度でも茎が折れると枯れてしまう。慎重に扱わなければならない、ちょっとやっかいな野菜だ。なりじく（専門用語では果梗（かこう））に慎重にハサミを入れて、ズッキーニを切り取った。次回も収穫できるはず。刃が長めでよく切れるハサミを持ってこよう。

お昼を食べていると、南の空に黒い雲がモクモク現れ出した。時折、遠くからゴロゴロと聞こえてくる。これはヤバイぞ！カミナリが来るぞ！大急ぎで山分け開始。子どもも大人も入り乱れ、くりのき農場はカオス状態だ。ポツポツ降り出してきた。雷鳴も近づいてきた。雨雲レーダーによれば本降りまであと15分！急げ！急げ！



どうにか分け終わり、急いでマイバックに詰めて、一目散に退散した。どしゃ降りになる前に解散できたのは良かったが、最高の出来のレタスを収穫出来ず残念でならない。夕方まで降らないはずではなかったか？想定外の雨に振り回された第3回だった。

来月はナス・ミニトマトの収穫と手入れ、ニンジン種まき、クワガタ教室を予定している。次こそは天気を気にせず、思いっきり畑仕事をしてみたい。

『こえどファーム夏のオープンデー』

いつでもマイ野菜が収穫できるように、今年もこえどファームを期間限定でオープンします。今年の夏もこえどファームの美味しいナスとミニトマトをお腹いっぱい食べてください。収穫に来たら草取りもヨロシク！

期 間	9月4日（日）までの毎日 （8月13日～15日を除く）
時 間	午前9時～午後4時

注意事項

- ・ハサミは各自でお持ちください。
- ・虫さされやトゲにはご注意ください。
- ・おばけナスや熟し過ぎのトマトはスタッフが火曜日または金曜日に収穫し、皆さんに代わってありがたくいただきます。
- ・オープンデーは保険対象外ですので、ケガや事故には、十分ご注意ください。

親子で畑で遊ぼう！2022 第4回

7月9日（土）10:00～14:00

野菜の収穫と手入れ、クワガタ教室ほか

持ち物：帽子、手袋、長靴、タオル、飲み物、昼食
ハサミ、Myバック

畑をみんなで楽しもう！

2019年の12月初旬に新型コロナウイルス感染症が中国武漢で報告されてから、わずか数か月でパンデミックと呼ばれる世界的な大流行となった。日本では2020年1月に最初の感染者が確認され、その後の生活は一変した。そこから2年半、やっと普段の暮らしを取り戻せそうなところまでやってきた。コロナ前まで定期的開催していた勉強会もいよいよ8月から再開できそうな予感。そこで、再開を記念して、農林水産省の職員から「日本の農業の現状と施策」について、話をしてもらおうと、今段取っている。さらに、「菜の花米ができるまで(仮)」と題してこえどファームのお隣の田中さんからお米作りを学ぶ予定だ。



こえどファームのメンバーに限らず、土と風の舎にゆかりのある方なら参加できるので、この通信をご覧のみなさんは、今からカレンダーに赤丸を付けておいてくださいませ。

「菜の花米」は、菜の花を田んぼ一面に咲かせ、耕した後に肥料として育てたお米です。減農薬、無化学肥料で育てた菜の花米は体にやさしいお米です。(パンフレットより)

畑でハーブを育てよう！

梅雨の合間の曇り空、活動に絶好の日和となった第2回講座「ハーブティー」、今回は3種のハーブティーを味わって水色・香りの違いを感じ楽しみました。最初は2種のドライのブレンドティーを試飲。ドライハーブにするには直射日光をさけ、風通しの良い所で乾燥させます。入れ方について、ドライは水分が少ない分、エキスの出方が良くなるため分量、抽出時間は注意です。次に3班に分かれ、各班のスタッフのリーダーの元、各グループでお茶にするハーブを畑で摘み取りハーブティー作り。ガラスポットの中はきれいなライムイエローで皆さんの目はうっとり。試飲後、各班からの感想では「レモンの後に最後にタイムのピリが楽しめた」などの声がありました。最後の試飲は、氷入りカルピスにパタライピイのお茶を注いで色の美しさも堪能。ハーブティーは様々な香り・味・色によりリラックス、消化促進、美肌効果など、また香りが直接脳に働きかけアロマ効果も。カフェインレスなのでどの年代でも安心して楽しめます。今回は畑での作業があまりできませんでした。土や植物に触れることで癒しや自然への愛しさも感じられます。次回以降お楽しみに。植え付けはレモンバーベナ、赤紫蘇等です。最後に「フレッシュハーブの選び方は？」の質問に「色々飲んで試す～」と回答。感想は「フレッシュとドライの違いがわかった、色も様々な種類の味も楽しめた、畑仕事できてリフレッシュできた」などでした。(沢田)






畑でハーブを育てよう！

7月9日(土) 10:00~12:00

藍のたたき染めと管理作業

持ち物：帽子、手袋、長靴、飲み物、マイカップ

7月のこえどファーム

日	月	火	水	木	金	土
					1 畑をみんなで楽しもう アグリチャレンジ	2
3	4	5 畑をみんなで楽しもう	6	7 	8 畑をみんなで楽しもう アグリチャレンジ	9 親子で畑で遊ぼう 畑でハーブを育てよう
10	11 	12 畑をみんなで楽しもう	13	14	15 畑をみんなで楽しもう アグリチャレンジ	16 順延日
17	18	19 畑をみんなで楽しもう	20	21	22 畑をみんなで楽しもう アグリチャレンジ	23
24/31	25	26 畑をみんなで楽しもう	27	28	29 畑をみんなで楽しもう アグリチャレンジ	30 

◆編集なんてしてないけど編集後記◆

グループホームでバケツ稲を始めた。先日、田植えをしていると入居者さんの目が輝きだした。稲作は日本の文化だと改めて実感したが、よく考えたらお米が彩のかがやきだった。(ま)

発行 特定非営利活動法人 土と風の舎

〒350-1124 埼玉県川越市新宿町 6-14-10

TEL.049-248-9485 FAX.049-248-9486

E-mail.tutitokaze@arion.ocn.ne.jp